

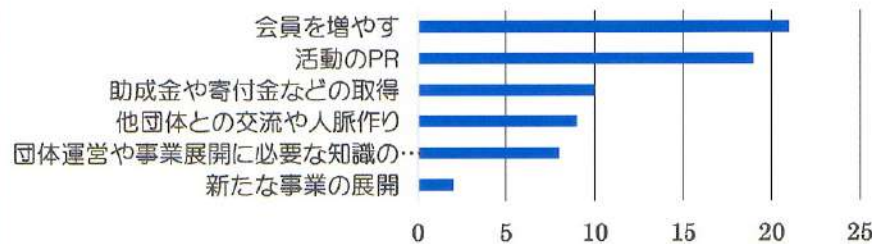
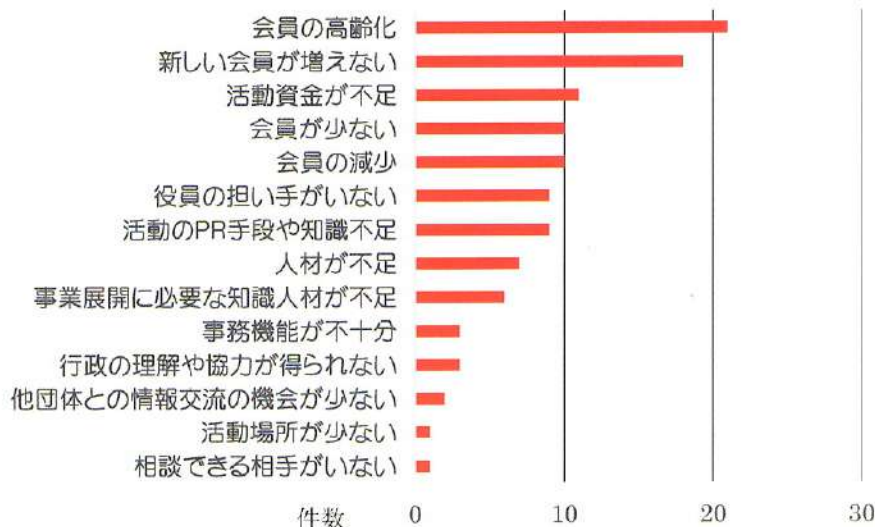
# ボランティア・市民公益活動に関するアンケート

2019年3月に市民公益活動支援センター「るーぷらざ」は「ガイドブック」掲載団体及び市内のNPO法人を対象(145団体)にアンケートを実施し、50団体から回答をいただきました。そのアンケートの一部をご紹介します。ご回答いただきました団体の皆さま、ご協力ありがとうございました。

## Q1 活動の中での問題点・課題・困っていること。

「会員の高齢化」「会員が増えない」「会員が少ない」「会員の減少」「役員の担い手がない」「人材不足」など人に関する課題が大半、次に資金に関する課題「資金不足」でした。その他「活動のPR手段や知識不足」「事業展開に必要な知識人材不足」「事務機能が不十分」「行政の理解や協力が得られない」「他団体との情報交流の機会が少ない」などでした。

(1団体が複数回答、Q2, 3, 4共)

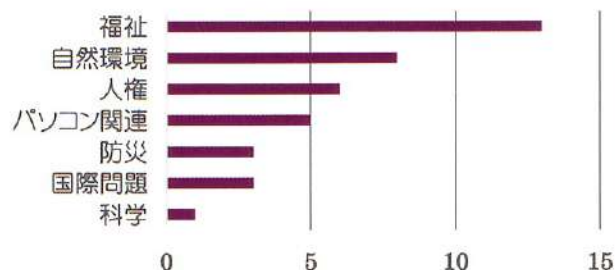
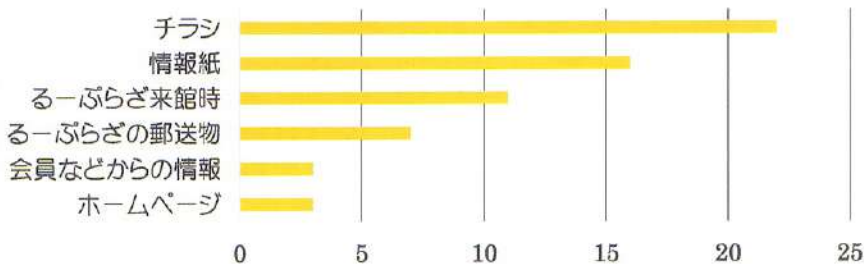


## Q2 今後の活動で、課題解決のため重視していること。

Q1と重なり「会員を増やす」及び「活動のPR」を重視し、また、「助成金などの取得」などが挙げられていた。

## Q3 「るーぷらざ」の情報はどうのように入手していますか。

「るーぷらざ」発行のチラシや情報紙が多い。反面、ホームページが少ない。



## Q4 どんな講座を希望しますか。

福祉:障がい者支援・介護関連、少子高齢化、高齢者福祉、健康や食生活など。自然環境:地球温暖化、原発問題など。人権:子どもの人権、貧困など。パソコン関連:HP・LINE・ブログ作成、経理などを希望している。

多くの団体が会員の高齢化などにより会員の減少が課題となっていること、また、資金不足が挙げられている。これら「会員の減少」「資金不足」により、事業展開の拡大より、団体運営の維持・継続が精一杯と思われる。「るーぷらざ」としては、団体と連携して「団体会員の募集」、「団体運営支援」「団体活動PR」「ホームページの充実」「助成金情報の提供」などに力を入れていく必要がある。